

# 都立日比谷高等学校 グランドデザイン

**【生徒／学校の現状】**  
 ・学習・学校行事・部活動等に尽力しながら、進路実現に向けても高い目標を実現すべく、努力を継続している。  
 ・全国公立高等学校の旗艦校として、文武両道・自主自律の理念を大切にしながら、将来のグローバル・リーダーを育成している。

**【予想される社会の変化】**  
 ・AI（人工知能）・ICT 技術等の進展  
 ・日本における少子化・高齢化の加速、生産年齢人口の減少

**【教育目標】**  
 個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間を育成し、普遍的にしてしかも個性豊かな文化の創造をめざすことは、われわれの理想とするところである。生徒はこの理想のもとに、常に向上心と積極的態度をもって次の目標の達成に努めなければならない。

- ・自律的人格 ・学習と教養
- ・責任と協調 ・心身の健康
- ・文化と平和

**【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】**  
 ・自らの高い専門性と資質・能力をいかに発揮しながら自己実現を図るとともに、グローバル・リーダーとして組織構成員の良さを引き出しながら、新たな知や価値を創造し、人類に貢献する存在として活躍している。

**【育成すべき資質・能力】**  
 ・将来求められる創造的な思考力の土台となる「確かで幅広い教養」（あらゆる教科・科目の履修と修得による批判的思考力・協働的思考力等）  
 ・豊かな人間性（強い意志、他を思いやる心、共感能力、前向きに取り組む姿勢、忍耐力、規範意識、リーダーシップ、フォロワーシップなど）  
 ・グローバル・リーダーに必要な「柔軟で論理的な思考力」「英語をツールとして使いこなす力」「発信力・提言力」

**【育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】** 高い ←————→ 低い

育成すべき資質・能力	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	目指すべき生徒の将来像
批判的思考力	必要な情報を抽出し、内容の正しさを判断できる。また、知識と情報を組み合わせ根拠ある結論を導くことができる。	必要な情報を取り出し、客観的に正しく評価することができる。取り出した情報の範囲内で一定の結論を提示できる。	必要な情報を部分的に取り出し、客観的に評価できる。取り出した情報の範囲内で適切な結論を提示できる。	わかりやすい資料から情報を取り出し、評価することができる。何らかの結論を提示できる。	範囲が限定された利用について情報を取り出した、評価したりすることができる。	21世紀を逞しく切り拓くグローバル・リーダーとして活躍する
協働的思考力	他者との価値観の違いを客観的に理解し、尊重できる。身近なことから地球的規模にまで視野を広げることができる。	他者との価値観の違いを理解し、尊重できる。必要に応じて身近なことから地球的規模にまで視野を広げることができる。	他者との価値観の違いを把握し、尊重しようとする。問題に対して身近なこととの共通点に目を向けることができる。	他者とは価値観が異なることを知り、それを尊重する必要性を理解している。問題に対して解決する必要性を理解できる。	他者とは価値観が異なることを理解できる。	
創造的思考力	知識と組み合わせ問題特定し、最善の解決策を選択できる。広い視野から問題を構造化して効果的かつ実現可能な解決策を提案できる。	問題を特定し、よりよい解決策を選択できる。問題の本質をとらえ、解決のための条件をすべて満たした解決策を提案できる。	条件に沿った、よいと考える解決策を選択できる。問題の枠組みを把握し、解決のための条件を満たした解決策を提案できる。	条件に沿って、何らかの解決策を選択できる。問題の構成要素を把握し、解決のための条件を一部満たした解決策を提案できる。	自分なりの観点で何らかの解決策を選択できる。	
豊かな人間性	多様な意見を調整し、相手やチームの良さを引き出しながら、十分な成果へとつないでいくことができる。	多様な意見を調整し、相手やチームの一部の良さを引き出しながら、一定の成果へとつないでいくことができる。	多様な意見を引き出し、相手やチームの考えをまとめることができる。	一部の意見を引き出すことができ、ある程度の方角性を導くことができる。	特定の人の意見を引き出すことにとどまり、明らかな方向性が出せないでいる。	
柔軟で論理的な思考力（探究力）	仮説を立て、科学の方法を用いてそれを検証し、根拠と共に客観的な結論を導くことができる。	仮説を立て、概ね科学の方法を用いてそれを検証し、一定の根拠と共に客観的な結論を導くことができる。	仮説を立て、一部に科学の方法を用いてそれを検証し、ある程度の根拠を示して一定の結論を導くことができる。	仮説を立て、自分なりの方法でそれを検証し、自らの考えを示して結論を導くことができる。	仮説を立て、自分なりの方法でそれを検証し、何らかの結論を見いだすことができる。	
英語をツールとして使いこなす力	CEFRにおいて、B2レベルに達しており、かつ4技能すべてがB2レベル以上である。	CEFRにおいて、B2レベルに達している。 注：CEFRとはヨーロッパ言語参照枠のこと	CEFRにおいて、B1レベルに達している。	CEFRにおいて、A2レベルに達している。	CEFRにおいて、A2レベルに達していない。	
発信力・提言力（表現力）	自ら探究した結論や考えを明確かつ的確に説得力をもって発信・提言することができる。	自ら探究した結論や考えを明確かつ的確に発信・提言することができる。	自ら探究した結論や考えをある程度の納得性をもって発信・提言することができる。	自ら探究した結論や考えを相手に理解できるように発信・提言することができる。	自ら探究した結論や考えをわかりやすく伝えようとする姿勢をもつ。	